リーディングDXスクール事業 【GIGA×指導の工夫・改善】 広島立牛田中学校（広島県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】 作品を作る教科において動画と進捗表の活用で学びを可視化

＜考察＞

作品を作る授業は、授業が進むにつれ、個人間の進度の差が顕著になり、一斉指導が難しくなる。製作（制作）の技能に関する動画を用意するとともに、進捗表で生徒の進度を把握することで、遅れている生徒を重点的に支援する授業へと改善できた。

各工程における製作（制作）の技能に関する動画を用意することで、生徒の進度に関係なく、自分の進度にあった動画を視聴できる環境を整えることによって、個別最適な学びを実現している。

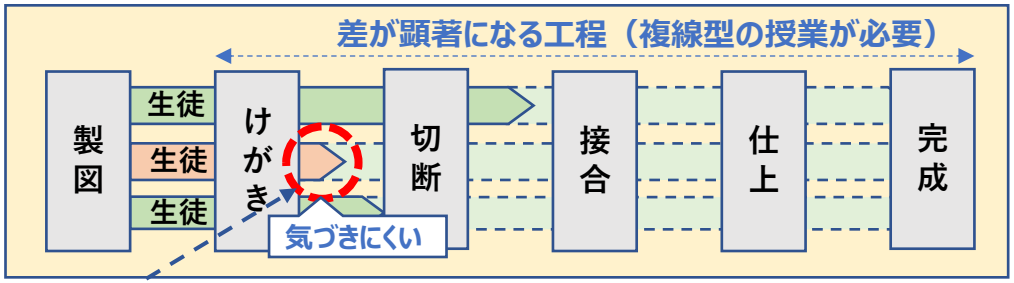
本例は技術科での実践であるが、家庭科や美術科でも同様の実践をおこなっている。

＜指導の工夫と改善＞

どの生徒も身に付けるべき技能については、動画にすることによって、生徒が必要なタイミングで視聴し、作業を進めることが可能になる。また、動画は止めたり戻したりできるので、見たいところを繰り返し視聴でき、動画は個別最適な学びへとつながってくる。さらに、生徒に進捗状況をスプレッドシートに入力させることによって可視化でき、適切なタイミングでの必要な支援が容易になった。

進捗表及び動画の活用により生徒支援に注力する授業を実践した。

工程（技術 木工）



要支援

可視化

（スプレッドシート）

進捗表（クラウド）

指導の工夫

動画

指導の工夫と改善をした結果

動画による指導の改善

教師：生徒に支援が行き届く。

生徒：いつでも必要な動画を選んで視聴できる。

進捗表による指導の改善

教師：適切なタイミングで生徒支援ができる。

生徒：見通しを持って授業をすすめることができる。